



プログラム6番は年長の「さくら組」による「オペレッタ：シンデレラ」です。見どころは、本物の馬車が出てきたときにそれを引っ張ることができることを喜んでた子ども達の表情。とても嬉しそうに演技をしていました。また、「少人数（1人・2人で）舞台上立つという経験をさせたい」という先生の気持ちに見事応え、表情豊かに演技をすることができたところです。練習を始めて2週間程度で自分の役以外のセリフやダンスも覚え、「早く発表会やりたい！」と毎日心待ちにしていた「さくら組」の子ども達。終わった後も、「また発表会やりたいな〜」と言う子も。一生の思い出に残る劇になったようです。



プログラム7番は年長の「ゆり組」による「オペレッタ：長ぐつをはいたねこ」です。見どころは、最後のフィナーレの場面！全員がステージ上で踊るシーンです。一人ひとりが躍動感あふれる踊りを披露することができました。練習の時に恥ずかしがっていた子ども達も、徐々に楽しくなってきた元気に踊ることができました。他の場面でも、休んだ子の代役ができるほど集中して練習に取り組んでいました。またセリフも棒読みではなく、感情を込めて大きい声でしっかり言うことができました。園での練習だけでなくお家でしっかりと練習してきた成果だと感じました。楽しかったという様子が随所に見られました♡

